

地域医療

Vol.56
No.3

●特集① **座談会** **新執行部体制の決意と課題—地域包括医療・ケアの推進**

押淵 徹 国診協会長、長崎県・国保平戸市民病院長／金丸吉昌 国診協副会長、宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長／小野 剛 国診協副会長、秋田県・市立大森病院長

●特集② **第58回全国国保地域医療学会開く**

●年頭所感●超高齢社会で一層の輝きを 押淵 徹 国診協会長

■国診協 平成30年度海外保健・医療・介護・福祉視察研修レポート●滋賀県・公立甲賀病院感染制御部副部长・看護師長 木下 桂

■連載

インタビュー●厚生労働省保険局長 樽見英樹

エッセイ●HBMS特任教授・元厚生労働省医政局長 神田裕二

市町村長からのメッセージ●人口減少先進地・飛騨市における地域医療／岐阜県飛騨市長 都竹淳也

フロント・オピニオン●日々の暮らしの中で輝け！国保直診／国診協副会長、宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長 金丸吉昌

国保直診 新時代への挑戦●北海道・足寄町国保病院長 村上英之

診療所新時代—いまこそ診療所の時代！●香川県・まんのう町国保造田歯科診療所長 木村年秀

国保直診の看護現場から●茨城県・茨城県立中央病院・地域がんセンター総看護師長 橋本 泉

介護予防・健康づくりに挑戦！●秋田県・東成瀬村民生課保健師 佐々木文子

認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進●埼玉県・小鹿野町国保町立小鹿野中央病院長 内田 望、小鹿野町保健課長 分須亮太郎、

主簿保健師 須藤裕子、主任保健師 大久保順子

地域住民の健康長寿に寄与するオーラルフレイル予防対策●岡山県・鏡野町国保富歯科診療所長 鷲尾憲文

[臨床研修] ●福井県・高浜町国保和田診療所・JCHO若狭高浜病院医師 井階友貴／研修修了者 新野保路



日々の暮らしの中で輝け！国保直診

国診協副会長
宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長

金丸吉昌

われわれは日々の暮らしの中で気づかない、見えないたくさんものものに支えられ生きていることを、そして感謝の気持ちを忘れていないだろうか。全国の国保直診はその始まりの頃から地域住民をはじめ、多くの関係の皆様を支えられ、今日まで、それぞれの地域の暮らしの中で活動してきた。そのことが地域包括ケアの推進として国の政策となり、全国の地域で実践されている。最近ではデジタル社会の発展により、限りなく便利で生活が豊かになってきている。その一方で仮想現実が多くなってしまい、暮らしの現場で人と人との大切なコミュニケーションが見失われかねなくなって来ている。対面の中で、互いに我がことのごとく共感し合うことで意識の共有が生まれ、自助・互助へとつながっていく。その自助・互助を基本に共助・公助がうまくからむことが出来、地域包括ケアシステムの構築へと向かっていくのではないかと。

国は今後の医療提供体制のあり方を地域医療構想の計画の策定等を通して進めようとしている。具体的には全国の各計画の構想区域ごとに、地域医療構想調整会議が位置付けられ、そこで、それぞれの地域の医療提供体制を協議することになっている。また、医療法および医師法の一部を改正する法律に基づいて、平成30年度中に全国の都道府県に地域医療対策協議会が設置され、平成31年度中に各県の医師確保計画が義務付けられた。まさに、地域医療構想調整会議と地域医療対策協議会が両輪となってそれぞれの都道府県で適切に協働することが、結果としても2025年、2040年における超高齢社会、人口減社会に対する課題解決へとつながっていくのではないかと。

また、医師の働き方改革の議論が今、最も大事な局面になってきていると感じているが、最も基本である「労働は何のためにあるのか」「これは本当に労働なのか」と考えることも必要ではないかと思う。社会全体として、効率という概念が基軸になっているのではないだろうか。無用の用、使命、歴史・伝統・文化……が影をひそめてしまっているのではないかと、大変案じている。医学教育が新しくなり、6年間の限られた時間の中で、ますます人間性の教育・人格形成の教育に時間をとることが厳しくなっているように思う。単に知識をそして技術を深めなければならなくなってきている。しかし、知識・技術を適切に使って目の前の患者救済にあたる、その時に最も期待される、求められるのは医師の人間性ではないだろうか。

最後になるが、国民皆保険が始まる中、全国の国保直診が誕生し、そしてこの制度の安定・充実に少なからず貢献を果たしてきた。これから先も超高齢社会の中で地域が消滅していく最期まで地域包括ケアを通して国保直診の使命は変わることなく、その活動は地域の暮らしの中でますます輝きを帯びてくる。そのためにも医師の地域偏在の解消、そして総合診療専門医の活躍が大変重要になると考える。

今回、医療法および医師法の一部を改正する法律に基づいて、へき地等の地域で活躍する医師の評価が始まる。この仕組みのさらなる充実を通して、半世紀に渡ってできなかった医師の偏在の是正に向かって動いてほしいと願っている。また、新しい専門医制度での総合診療専門医のキャリアの構築（ダブルボード、内科系のサブスペの位置付け。セカンドキャリア）を早期に示していただけることで、より多くの専攻医が総合診療専門医につながってくるのではないかと期待している。

地域医療

Vol.56 No.3

平成31年1月1日

CONTENTS

- フロント・オピニオン●日々の暮らしの中で輝け！国保直診 3
金丸吉昌 国診協副会長／宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長

- 年頭所感●超高齢社会で一層の輝きを 6
押淵 徹 国診協会長

- 地域医療（平成30年9月30日発行号）の「特集座談会：医師の働き方改革の課題を検証」の補足記事 8

■特集①■

- [座談会] **新執行部体制の決意と課題** 12
—地域包括医療・ケアの推進—
司会・進行 押淵 徹 国診協会長／長崎県・国保平戸市民病院長
金丸吉昌 国診協副会長／宮崎県・美郷町地域包括医療局総院長
小野 剛 国診協副会長／秋田県・市立大森病院長



■特集②■

- 第58回全国国保地域医療学会開く** 22
特別講演／国保直診開設者サミット／シンポジウム／会員宿題報告／パネルディスカッション／地域医療講座

- 国診協 平成30年度海外保健・医療・介護・福祉視察研修レポート●イギリス視察研修 118
滋賀県・公立甲賀病院感染制御部副部長・看護師長 木下 桂

連 載

- インタビュー●樽見英樹氏（厚生労働省保険局長）に聞く 68



インタビュアーの押淵会長（左）と

- エッセイ●国保直診にとっての明るい1年を展望する 72
HBMS特任教授・元厚生労働省医政局長 神田裕二

- 国保直診 新時代への挑戦●町全体で住みやすい共生社会の実現を 74
北海道・足寄町国民健康保険病院長 村上英之

- 地域住民の健康長寿に寄与するオーラルフレイル予防対策● 78
鏡野町における地域住民の健康長寿を目的としたオーラルフレイル予防の取り組み
岡山県・鏡野町国保富歯科診療所長 鷺尾憲文

- 【診療所新時代】地域総働で最期まで安心して暮らせる町づくり 90
香川県・まんのう町国保造田歯科診療所長 木村年秀

表紙—オンネトー

阿寒摩周国立公園内に位置し、雌阿寒岳の噴火によりできた周囲2.5kmの湖である。「オンネトー」はアイヌ語で「年老いた沼」、あるいは「大きな沼」の意味である。湖面は四季折々にその色に変化することから五色沼の別名もある。晴れた日の午前中には、湖面が綺麗なコバルトブルーに染まる。オコタンベ湖（千歳市）、東雲湖（上士幌町）とともに北海道三大秘湖の一つとされている。写真の奥に見えるのは雌阿寒岳（左）と阿寒富士（右）。

裏表紙—ラワンフキ

地表からの高さ3m、茎の直径が10cmにもなる日本最大のフキ。ラワンとはこのフキが多く自生していた足寄町内の「螺湾（ラワン）」に由来する。丈が伸びた理由にははっきりとは判明されておらず、足寄町の気候、土質、川の成分などが組み合わさったためでないかと言われている。北海道自然遺産にも認定されている。収穫時期は6月中旬頃。食用として広く使われ、線維が多いにもかかわらず、実際は柔らかく風味豊かな野菜であり、煮物や炒め物、てんぷら、味噌汁などに用いられる。

写真提供：足寄町役場総務課、文：村上英之（北海道・足寄町国保病院長）



●介護予防・健康づくりに挑戦！●保健師の腕の見せどころ！「ひと」を集める工夫を探る！	96
秋田県・東成瀬村民生課保健師 佐々木文子	
●国保直診の看護現場から●地域連携における看護・介護の質向上—急性期病院の取り組み—	100
茨城県・茨城県立中央病院・地域がんセンター総看護師長 橋本 泉	
●認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進●埼玉県小鹿野町における地域包括ケア・認知症への取組	104
埼玉県・小鹿野町国保町立小鹿野中央病院長 内田 望、小鹿野町保健課（地域包括支援センター）保健課長 分須亮太郎、 主席保健師 須藤裕子、主任保健師 大久保順子	
●新規加入施設紹介●北海道・中頓別町国保病院長 伊藤 斉	109
●[臨床研修]新たな地平を拓く●地域医療たかはまモデルは、総合診療医たかはまモデルへ ～病院・診療所・地域社会総合診療医が拓く未来～	110
福井県・高浜町国保和田診療所・JCHO若狭高浜病院医師／福井大学医学部地域プライマリケア講座教授 井階友貴／研修修了者 新野保路	
●市町村長からのメッセージ●人口減少先進地・飛騨市における地域医療	114
 岐阜県飛騨市長 都竹淳也	
●下手の横好き●アウトドアスポーツ	116
三重県・紀南病院組合立紀南病院長 須崎 真	
●国保直診の仲間たち●	126
医師 池上雄亮 奈良県・天川村国保直営診療所長	
歯科医師 小山吉人 長野県・市立大町総合病院歯科口腔外科部長代理	
リハビリ 東浦浩昭 北海道・足寄町国保病院リハビリテーション科理学療法士	
リハビリ 加井圭輔 広島県・安芸太田病院リハビリテーション科技師長	
MSW 川本哲朗 熊本県・国保水俣市立総合医療センター社会福祉士	
介護支援専門員 湯浅雅志 徳島県・那賀町地域包括支援センター主任介護支援専門員	
●都道府県協議会主催国保地域医療学会活動報告●	132
第61回山形県国保地域医療学会、第67回神奈川県国民健康保険団体連合会診療施設部会研修会、第50回滋賀県国保地域医療学会、第43回広島県国保診療施設地域医療学会、第25回鹿児島県国保地域医療学会	
●国診協 INFORMATION—この3か月の主な動き●	148
平成30年度国保直診・口腔保健研修会開く／平成30年秋の叙勲／平成30年度厚生労働大臣表彰／平成30年度会長表彰／第22回優秀研究表彰／本部の動き／都道府県協議会の動き	
●編集後記	154